



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場会社名 ミツ星ベルト株式会社
 コード番号 5192 URL <http://www.mitsuboshi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 垣内 一
 (氏名) 増田 健吉

TEL 078-685-5630

上場取引所 東大

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	40,666	4.8	4,583	15.8	4,300	27.2	2,828	3.5
23年3月期第3四半期	38,798	19.8	3,959	451.2	3,380	326.2	2,733	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,735百万円 (13.8%) 23年3月期第3四半期 1,524百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	42.29	—
23年3月期第3四半期	39.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	65,137	38,553	59.2
23年3月期	67,151	37,621	56.0

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 38,553百万円 23年3月期 37,621百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
24年3月期	—	6.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	2.1	5,000	2.6	4,700	8.2	3,000	△10.8	44.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	74,208,397 株	23年3月期	74,208,397 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	7,339,134 株	23年3月期	7,336,072 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	66,871,112 株	23年3月期3Q	69,785,371 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災後の復興需要と生産、輸出の復調によって、景気の回復過程にあったものの、その後の欧州危機による海外景気の変調と今夏以降の急激な円高、さらにタイ洪水の影響も加わり、その回復ペースは鈍化し、踊り場に入ったと見られています。

このような環境のもと、当社グループはアジア圏を中心とした成長市場における販売活動を強化するとともに生産体制の再構築を推進し、経営の効率化と一層のコスト削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、タイ洪水の影響が比較的少なかったことに加え、アジア圏を中心とした海外需要が旺盛であったことから、売上高・利益ともに改善され、売上高406億66百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益45億83百万円（前年同期比15.8%増）、経常利益43億円（前年同期比27.2%増）、四半期純利益は28億28百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔国内ベルト事業〕

自動車用ベルトは、期間の前半は震災による自動車生産台数の落ち込みの影響を受けたものの、その後の回復によりほぼ横ばいとなりました。一般産業用ベルトは、新興国向けの需要拡大や拡販キャンペーンにより伸長しました。また、OA機器用ベルト及び運搬ベルトは堅調に推移し、合成樹脂素材は設備投資の回復に伴い増加しました。

その結果、当事業の売上高は197億70百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は50億54百万円（前年同期比13.8%増）となりました。

〔海外ベルト事業〕

海外での販売拡大に対応すべく生産体制・販売体制を強化した結果、一般産業用ベルトがアジアを中心に大幅に伸長しました。

自動車用ベルトは、海外現地ユーザ向け及び補修用ベルトが好調に推移しましたが、為替の影響により邦貨では横ばいとなりました。

その結果、当事業の売上高は143億74百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益は11億27百万円（前年同期比5.3%減）となりました。

〔建設資材事業〕

土木部門は産業廃棄物処分場の受注が寄与し増加しましたが、建築部門では公共投資の抑制の影響をうけ、全体では微減となりました。

その結果、当事業の売上高は32億9百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は22百万円（前年同期比33.5%減）となりました。

〔その他〕

その他には、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、ナノ粒子を応用した新製品、設備機械の供給、仕入商品等が含まれております。

その他の売上高は33億12百万円（前年同期比15.3%増）、営業利益は74百万円（前年同期は営業損失1億45百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末は、流動資産が9億52百万円増加したものの、有形固定資産が19億36百万円、投資その他の資産が10億28百万円とそれぞれ減少し、総資産は前連結会計年度末比20億14百万円減少の651億37百万円となりました。

また、負債も流動負債が10億28百万円、固定負債が19億18百万円とそれぞれ減少し、負債合計は前連結会計年度末比29億46百万円減少の265億83百万円となりました。

純資産は、株価の下落及び為替が円高に推移した影響で、その他の包括利益累計額が10億93百万円減少したものの、四半期純利益の計上により利益剰余金が20億26百万円増加した結果、前連結会計年度末比9億32百万円増加の385億53百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の56.0%から59.2%に上昇しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

欧州危機が深刻化し、中国経済にも減速感が強まって世界経済の先行き不透明感が一段と増すなか、国内経済は新興国経済の復調や復興需要の本格化により緩やかに回復すると見られますが、海外経済の減速と円高による輸出の鈍化など、景気下振れリスクも強まっています。

第3四半期までの業績は比較的堅調に推移しておりますが、このような状況を踏まえ、平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年11月9日の平成24年3月期第2四半期決算短信で発表しました通期業績予想の変更は行いません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

[税金費用の計算]

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,971	13,246
受取手形及び売掛金	11,868	12,940
商品及び製品	7,427	7,839
仕掛品	1,150	1,529
原材料及び貯蔵品	1,737	1,619
その他	1,165	1,050
貸倒引当金	△163	△113
流動資産合計	37,158	38,110
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,694	7,255
機械装置及び運搬具（純額）	7,962	6,989
工具、器具及び備品（純額）	1,527	1,526
土地	4,152	4,127
建設仮勘定	781	282
有形固定資産合計	22,118	20,182
無形固定資産	70	67
投資その他の資産		
投資有価証券	7,537	6,510
その他	348	347
貸倒引当金	△81	△81
投資その他の資産合計	7,804	6,776
固定資産合計	29,993	27,026
資産合計	67,151	65,137

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,638	7,221
短期借入金	6,479	6,323
未払法人税等	883	693
賞与引当金	394	277
その他	3,637	3,489
流動負債合計	19,032	18,004
固定負債		
長期借入金	7,069	5,963
退職給付引当金	286	282
役員退職慰労引当金	18	21
その他	3,123	2,312
固定負債合計	10,497	8,579
負債合計	29,529	26,583
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,150	8,150
資本剰余金	7,130	7,130
利益剰余金	26,778	28,804
自己株式	△4,034	△4,035
株主資本合計	38,024	40,048
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,196	2,773
為替換算調整勘定	△3,598	△4,268
その他の包括利益累計額合計	△402	△1,495
純資産合計	37,621	38,553
負債純資産合計	67,151	65,137

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	38,798	40,666
売上原価	26,888	27,908
売上総利益	11,910	12,757
販売費及び一般管理費	7,950	8,174
営業利益	3,959	4,583
営業外収益		
受取利息	11	18
受取配当金	179	143
デリバティブ評価益	35	86
その他	216	251
営業外収益合計	441	499
営業外費用		
支払利息	173	139
為替差損	475	375
その他	371	267
営業外費用合計	1,020	782
経常利益	3,380	4,300
特別利益		
子会社清算益	185	—
特別利益合計	185	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	78	—
投資有価証券評価損	—	124
特別損失合計	78	124
税金等調整前四半期純利益	3,487	4,175
法人税等	754	1,347
少数株主損益調整前四半期純利益	2,733	2,828
四半期純利益	2,733	2,828

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,733	2,828
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△602	△422
為替換算調整勘定	△606	△669
その他の包括利益合計	△1,208	△1,092
四半期包括利益	1,524	1,735
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,524	1,735
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	19,250	13,403	3,272	35,925	2,872	38,798	—	38,798
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,415	1,056	0	5,472	1,484	6,957	△6,957	—
計	23,666	14,460	3,272	41,398	4,357	45,756	△6,957	38,798
セグメント利益又は損失(△)	4,441	1,190	34	5,666	△145	5,521	△1,562	3,959

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,562百万円には、セグメント間取引消去409百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,971百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	19,770	14,374	3,209	37,354	3,312	40,666	—	40,666
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,216	1,538	—	6,754	1,137	7,891	△7,891	—
計	24,986	15,912	3,209	44,108	4,449	48,558	△7,891	40,666
セグメント利益	5,054	1,127	22	6,204	74	6,279	△1,695	4,583

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,695百万円には、セグメント間取引消去330百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,026百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。